

H29 SG 課題研究 III

SG 課題研究英語発表会用評価基準 (ループリック)

基準	極めて良好である	概ね良好である	改善の余地がある	一層の努力を要する
点数	4	3	2	1
A 研究内容	新たな追調査結果を加え、一層充実した成果を発表できている。	昨年度不十分だった箇所を補うことができている。	英文化にあたり、一部の表現や構成を修正したが、内容そのものは深められていない。	昨年度の成果をそのまま英訳したことで、かえって理解が困難である。
B 説得力	十分な論拠とともに独創的・実効的成果をあげることができている。	十分な論拠をあげて自説を提案することができている。	独自の見解を提示することはできているが、論拠が不十分などところがある。	調べたことをただ列挙するだけにとどまっている。
C スライド作成	右に加えて、効果的にアニメーションを活用している。	右に加えて、効果的に図・表が用いられている。	スライドがシンプルでわかりやすく、構成も整理されている。	スライドが文字ばかりでわかりにくく、構成も整理されていない。
D デリバリー	右に加えて、聞き手を惹きつける工夫をしている。	右に加えて、効果的にジェスチャーやボディランゲージを用いている。	聞き手の方を見て発表しており、声量も充分である。	ただ原稿を読み上げており、声量も不十分である。
E 英語の活用	日本人・非日本人を問わず容易に理解できるよう工夫している。	英語を的確に用いて成果発表を行っている。	おおむね理解できるが、英語の誤用や専門用語の多用など、理解しづらい点がある。	日本人・非日本人ともに理解が困難と思われる発表である。
F 協調性	誰が代表になっても、プレゼンテーションができる	右に加えて、各自が活発に意見を出し合い、内容を洗練した	全員が役割を分担し、作業を完遂した	一部の班員のみで作業を完遂した
G 主体性	活動に主体的に取り組んだうえ、世界や自身の進路を見つめ直すことができた。	英語力や研究内容を向上させる機会と捉え、主体的に探究した。	与えられて課題については十分に果たそうとした。	課題研究に取り組む意義を見出せなかった。

※1 基準 A~E は、他の班の発表を評価する際に使用します。良い点・改善点をコメント欄に記入しましょう。

※2 基準 F, G は、自己評価に使用します。

評価表

班		点数	コメント		班		点数	コメント	
評価項目	A				評価項目	A			
	B					B			
	C					C			
	D					D			
	E					E			
計					計				
班		点数	コメント		班		点数	コメント	
評価項目	A				評価項目	A			
	B					B			
	C					C			
	D					D			
	E					E			
計					計				
班		点数	コメント		班		点数	コメント	
評価項目	A				評価項目	A			
	B					B			
	C					C			
	D					D			
	E					E			
計					計				
班		点数	コメント		班		点数	コメント	
評価項目	A				評価項目	A			
	B					B			
	C					C			
	D					D			
	E					E			
計					計				
班		点数	コメント		班		点数	コメント	
評価項目	A				評価項目	A			
	B					B			
	C					C			
	D					D			
	E					E			
計					計				

自己評価

自	点	反省・感想など
F		
G		

Class: No: Name: